

京都山城総合医療センター 医事課主任 奥田 典子さん

【1日目】

紀南病院は、紀伊半島の南端、和歌山県との県境に近い熊野灘に面し、潮風とみかんが香る自然豊かな土地にあります。

最初にご案内いただいたのはドクターヘリのヘリポート。最新の免震構造により建設された施設の屋上にあり、緊急時や災害時に備えておられます。周囲に視界を遮る高い建物もなく、景色を堪能させていただきました。ドクターヘリの導入により高度救急医療への迅速なアクセスが可能となり、医療圏人口 3 万 8000 人、高齢化率 39%のこの地域の救急医療体制強化と医療格差の解消に大きく貢献されている事がうかがえました。



屋上からの風景

続いて訪れたリハビリテーション室は、太平洋が一望できる絶好のロケーションで、ADL室も完備されていました。視察中もスタッフの皆様が患者様に寄り添い、支援されている様子が印象的でした。院内は全体的に明るく開放感があり、各所の壁面には地元画家による大作が展示され、まるで画廊のような趣のある空間となっていました。



ADL室

事前質問への回答では、医療従事者の育成、確保を目的として院内に設置された三重県地域医療研修センターの紹介がありました。医師不足、地域偏在が深刻化しており、その解消を図るために設けられた同センターで

は、地域医療に関する実践的な研修が提供されており、東京大学医学部附属病院や、聖路加国際病院をはじめとする全国から多数の研修医の受け入れを積極的に行っておられます。

また、他職種が連携し、さまざまな救急現場や災害現場の想定に挑み医療活動の技術を競う「メディカルラリー」を実施されておられ、その対象者は医師、看護師のみならず、当地域の他職種（介護、行政、消防、学校等）から構成されており、地域に根ざした医療を実施されている様子が垣間見え、チーム利用や協働の必要性を改めて認識できました。

メディカルラリーの様子



非常に限られた時間ではありましたが、病院訪問で出会った当スタッフの姿は挨拶と笑顔であふれ、基本理念である「優しくて温かい心」が表れたものと感銘を受けました。

施設見学の際には、ご配慮により突然の本館見学のリクエストにも快諾いただき、大変有意義な視察となりました。

【2日目】

伊勢神宮参拝を知り尽くしたエキスパートによるわかりやすい説明と興味深い講義内容で、観光客目線で責任ある案内はプロ意識に満ちており、私の接遇を省みる良い機会になりました。単にお伊勢さんの知識を伝えるだけでなく、コミュニケーションを通じて伊勢を広める姿はどなたも生き生きとされており、利用者の満足が自身の喜びや成長につながるという点において、私達の医療にも通じるものがあると感じました。



宇治橋の大鳥居

最後になりましたが、今回の視察研修にあたり、関係各位には大変お世話になりました。また、豊富な知識と丁寧な接客のバスガイドの方にもおもてなしの心を学ばせていただきました。このような機会をいただき心より感謝申し上げます。